1

昨日もおひまをつぶさせ、さてこを防
お除しやせし、注意書は申すまでもなく
以来考やらは遠ぎずいゆゑあれを他へお示し
はい至用之、勿論十分の御上へお持出
しはなきやらなれば、あの体をいづれも
金子、五十山見、河行、君の務議でなくては
なるまじくに萬一誤解を出して小生が
微分にあらいふ恵望を却して法界にお
おみへちが如くなるは遠慮なりけれ

2

なるとお合みでなれらしさていよ決議
為も、兵器沈事等へ何人ゞ話を来るまでも
よ、其人をはしら一体小生面会して其の確意
並びに其口上を御たなれば、実際同様
なると此様合なり非ざるべきこと知れず
文科校友ゞ小生の示唆なるを何の戦
あるとする事と當局の隈事中に誤解を抱く人
生ずる如きをありては大変に不快なるなり此
辺とくと金子、五十山見、河行の三君と十分

3

無ずにお打合せ然るべくに
名誉会長はさしたるへ用ちあるべく
なれば全然お除きあるべし
又、あの注意書は、此のお除しせしのも
其前日のこ（だれゞお持ちの気なれど）熱海へ
お取送りなれたるに
此意ぎ要体ゞけ申し入れ
四月十八日
本なり君